（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐりーん橿原支店			
○保護者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年　9月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	2名	（回答者数）	1名
○従業者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年　9月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9名	（回答者数）	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心感をもって通所できており、安心して過ごせる環境を提供できている。	幅広い年齢・経験をもつ職員がおり、こども一人ひとりに合わせて柔軟に対応している。日々の様子も、連絡帳などで保護者にこまめにお伝えしている。	引き続き、こどもと保護者に丁寧に関わり、安心して通える環境づくりに努める。
2	LINEなどを通して、保護者との意思の疎通や情報伝達に配慮できている。	連絡帳とLINEで日々の様子や連絡事項をお伝えしている。また、HPの毎月の保護者向けコラムや活動ブログで、子育てや栄養などの情報、活動の様子を発信している。	コラムや活動ブログを更新した際にはLINEでもお知らせし、情報が保護者に届きやすいようにする。
3	児童発達支援計画を示しながら支援内容を説明しており、保護者評価でも説明を受けたとの回答をいただいている。	アセスメントと保護者の意向をもとに計画を作成し、計画書を示しながら説明している。	半年ごとのモニタリングで保護者の思いを丁寧に聞き取り、計画の見直しに生かす。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日頃のこどもの様子や発達の状況について、保護者との共通理解が十分にできていない。	連絡帳・LINE・半年ごとの面談はあるが、発達についてじっくり話し合う機会が少なく、保護者の思いを十分に把握できていない。	面談以外にも相談しやすい機会を設け、保護者の思いに寄り添いながら発達の状況を共有する。
2	支援の専門性や、利用時の説明（運営規程・支援プログラム・利用者負担等）が、保護者に十分に伝わっていない。	支援の内容やねらい、利用に関する説明が、保護者にとってわかりやすい形になっていなかったと考えられる。	支援プログラムや活動のねらいを、HP・活動ブログ・連絡帳でわかりやすくお伝えする。契約時や計画の説明時には、資料を示しながら丁寧に説明する。
3	家族支援（ペアレント・トレーニング等）や保護者同士の交流の機会、非常時の取組のお知らせが不足している。	保護者会などの交流の場を設けておらず、HPに掲載している家族向けの情報や、安全計画・避難訓練などの取組を、十分に伝えられていない。	HPの「おうちでできるペアトレ練習」や保護者向けコラムをLINEでご案内する。避難訓練などの安全の取組を、連絡帳・LINEでお知らせする。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ぐりーん橿原支店

公表日　2026年　10月　30日

利用児童数　2名　　回収数　1名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。				1		職員の体制について、面談の際などにご説明します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		1				掲示物や部屋の使い方を工夫し、こどもにわかりやすい環境づくりを進めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		1				清掃と整理整頓を徹底し、活動に合わせた空間づくりに努めます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。			1			こどもの特性に応じた支援ができるよう研修を続け、支援の内容やねらいを連絡帳などでお伝えします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。				1		公表している支援プログラムと日々の支援のつながりを、HPや活動ブログでわかりやすくお伝えします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。			1			計画を説明する際に、本人支援・家族支援・移行支援のどの内容に当たるかを示しながらご説明します。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		1				計画に沿った支援の様子を、連絡帳やモニタリングの際にお伝えします。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		1				季節の行事や制作など、活動内容に変化をつけていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1					
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。			1			運営規程・支援プログラム・利用者負担について、資料を示しながら丁寧にご説明します。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1			HPの「おうちでできるペアトレ練習」や毎月の保護者向けコラムを、LINEでご案内します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。			1			連絡帳・LINEでのやりとりに加え、発達の状況について話し合う機会を設けます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。			1			半年ごとの面談のほか、ご希望に応じて面談や子育ての相談をお受けします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。			1			保護者のお気持ちに寄り添った対応ができるよう、職員間で共有して改善します。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1			保護者が参加できる行事や交流の機会を検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		1				相談や申入れの窓口について、改めてご案内します。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。				1		自己評価の結果は、毎年HPの情報公開ページで公表しています。更新した際はLINEでもお知らせします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。				1		個人情報の取扱いについて、HPの「個人情報を守る取り組み」ページなどでご案内します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				1		各種マニュアルと訓練は、契約時や面談でご説明します。安全計画・BCPは、HPでもご覧いただけます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1		避難訓練を実施した際は、連絡帳・LINEでお知らせします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				1		安全計画の内容を、HPの「安全・安心への取り組み」ページとあわせてご案内します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。				1		事故やけがが起きた際は、速やかにご連絡し、状況をご説明します。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。				1		ご満足いただける支援となるよう、いただいた評価をもとに改善を続けます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ぐりーん橿原支店

公表日　2026年　10月　30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	視覚的にもわかりやすい環境を心がけている。	障害の特性に応じた環境上の配慮が、まだ十分でない部分がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて使用ができる状況であり、使用できない状況の場合は、こどもが理解できるような説明を心がけている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		第三者評価は未実施のため、今後の受審を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		計画の内容を全職員が把握できているかを確認する仕組みが不足している（計画は閲覧でき、口頭でも伝達している）。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		児童発達支援計画を職員間で共有しているが、計画に沿った支援ができているかを確かめる機会が少ない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		標準化されたツールを用いたアセスメントの活用が十分でない。日々の行動観察とあわせて確認する方法を整える。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3		送迎や勤務時間の都合で、毎回の打合せは実施できていない。職員同士で個別に声をかけ合い、補っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	3	3		送迎や勤務時間の都合で、毎回の振り返りは実施できていない。職員同士で個別に声をかけ合い、補っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	日々の支援の記録や成果物を通して、支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		最低でも半年に一度、モニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		該当する事例が少なく、保育所等との情報共有の手順が定まっていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		就学時の移行の事例が少なく、小学校等との情報共有の手順が定まっていない。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		地域の児童発達支援センターから助言等を受ける機会が少ない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		職員も送迎に行き、保護者と情報を共有する場面がある。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		6	保護者から聞き取ったアレルギーの情報を、職員間で共有している。	現在は保護者からの聞き取りで対応している。今後、医師の指示書の提出をお願いする運用を検討する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			